

2018年FIA-F4選手権シリーズ第6大会 参戦報告書

HFDP事務局 阿部 正和

2018年FIA-F4選手権シリーズ

HFDP参加選手レポート

第6大会（第11戦／第12戦） 参戦レポート

シリーズの大詰め、2018年FIA-F4選手権シリーズ第6大会（第11戦、第12戦）が10月20日から21日にかけて、大分県オートポリスインターナショナルレーシングコースで開催された。このレースに、Honda フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト（HFDP）ドライバーとして#5 角田裕毅（18歳）、#6 名取鉄平（18歳）、SRS スカラシップとして#7 大滝拓也（22歳）、#8 佐藤蓮（17歳）の4名が参加した。

名取、連続表彰台。チャンピオン決定は最終戦へ持ち越し。

■公式予選（30分間）：天候/くもり 路面/ドライ

雲は流れるものの青空も広がる空模様の下、ドライコンディションで午前8時10分から公式予選が始まった。気温が急激に低下し、セッション開始時点で12度となっている。HFDPの4選手は前日までの合同テスト走行で好タイムを記録して波に乗っていた。早々にコースインしタイヤをウォームアップしてタイムアタックにかかる。



角田、名取、大滝は順調にタイムを縮めるが佐藤は伸び悩み中団に取り込まれてしまう。角田は2番手タイムを記録するが、ポールポジションを目指してタイムアタックを続けた。ところがセッション終了5分前に、第1コーナーで飛び出しクラッシュ、マシン後部を壊して走行不能に陥ってしまった。



セッション終了時点で#5 角田はベストタイム、セカンドベストタイムとも3番手につけていたが、決勝レースに向けてタイヤ交換を2本行わなければならず、規則により第11戦、第12戦ともスターティンググリッド最後尾からのスタートとなってしまった。#6 名取は第11戦、第12戦とも4番手（#5 角田が後退するため繰り上がって事実上3番手）、#7 大滝は第11戦で6番手（繰り上がり5番手）、第12戦で5番手（繰り上がり4番手）につけたが、#8 佐藤は最後までペースに乗れず第11戦、第12戦共に16番手（繰り上がり15番手）とグリッド後方へ沈んだ。

り上がり15番手）とグリッド後方へ沈んだ。

第11戦公式予選結果

予選3位 #5 角田 裕毅 1分51秒580
予選4位 #6 名取 鉄平 1分51秒881
予選6位 #7 大滝 拓也 1分52秒032
予選16位 #8 佐藤 蓮 1分52秒575

第12戦公式予選結果（タイムアタックのセカンドタイム順に決定）

予選3位 #5 角田 裕毅 1分51秒665
予選4位 #6 名取 鉄平 1分51秒889
予選5位 #7 大滝 拓也 1分52秒078
予選16位 #8 佐藤 蓮 1分52秒606

■第11戦決勝レース（13周）：天候/晴れ 路面/ドライ



番手の選手の背後につけた。

公式予選終了後、雲が薄くなり快晴となって気温が上昇した。午後1時30分、第11戦の決勝レースが始まった。上位はスタート合図とともに乱れなくスタートし、ほぼスターティンググリッド順で第1コーナーを抜けレースを始めた。5番手の#7大滝は好スタート、4番手の選手のイン側に並んで第1コーナーへ進入したがイン側の路面は荒れており無理は出来ず、進入で引き、グリッド通り5番手でレースを始めた。3番手からスタートした#6名取は2

最後尾スタートとなった#5角田はスタート直後からオーバーテイクを始め、1周のうちに17番手へ進出、2周目に15番手、3周目には#8佐藤に追いついて追い越し12番手、4周目に11番手、5周目に10番手と一気にシリーズポイント獲得圏内へ進出を果たした。

一方3番手の#6名取は後続を振り切りつつも前を走る2番手の選手からもじりじり引き離され、単独走行に入った。その後では#7大滝も5番手につけたまま順位を変えられずにレースを続けた。#8佐藤は中団グループの中に取り込まれてしまった。

後方で#5角田の追撃はさらに続き、10周目には9番手、12周目には8番手へ進出した。結局#6名取は3番手のまま13週のレースを走りきりフィニッシュ、#7大滝は5位、#5角田は8位、#8佐藤は14位でチェッカーフラッグを受けた。



【FIA-F4選手権シリーズ第11戦・レース結果】

#6 名取 鉄平 決勝3位（24分32秒468 ベストタイム 1分52秒796）
#7 大滝 拓也 決勝5位（24分40秒549 ベストタイム 1分53秒282）
#5 角田 裕毅 決勝8位（24分47秒106 ベストタイム 1分52秒894）
#8 佐藤 蓮 決勝14位（24分54秒763 ベストタイム 1分53秒837）

■第12戦決勝レース（13周）：天候/晴れ 路面/ドライ



翌21日曜日は、朝から晴天となった。路面はドライコンディションながら気温は下がって冷え込んだ。スタートが切られると4番手スタートの#7大滝がうまく加速、前を走る#6名取のアウト側に並んだ。#6名取はブロックするため進路を変え#7大滝を牽制するが#7大滝は#6名取に並んだまま1コーナーへ進入、コーナーの中で前に出た。#7大滝はさらに前を走る選手を追うが、じりじりと離されていく。一方4番手に後退した#6名取は#7大滝の背後につけて逆襲のチャンスを狙う構えに入った。

3番手の#7大滝と先行車との間隔は徐々に開いていった。4番手の#6名取は一旦#7大滝との間隔を開いたがその後#7大滝のペースが鈍ったこともあって間隔を縮め、8周目に入るホームストレートでスリップストリームに入ると第1コーナーでインに飛び込み順位を入れ替えた。

#7大滝は#6名取に逆襲をかけようと迫ったが押さえ込まれ、その後は後続車を意識しブロックするレースに切り替えた。

第11戦に続き最後尾からスタートした角田は第11戦同様、1周目に19番手、2周目に16番手、3周目に15番手、4周目に14番手と周回毎に順位を上げ8周目にはペースが上がらない#8佐藤を抜き、9周目にはシリーズポイント獲得圏内目前の11番手にまで進出した。しかし今回の追い上げはここまででレースは終わった。



#6名取はレース後半、3番手単独走行となり13週のレースを走りきって2戦連続で3位入賞を果たし表彰台に上がった。#7大滝は4位、#5角田は11位、#8佐藤は13位でレースを終えた。この週末2レースの結果、#5角田は第11戦で4点を加え通算得点202点でランキングトップを守った。#6名取は第11戦、第12戦でそれぞれ15点を獲得、通算得点188点でランキング2番手を守った。また#7大滝は2戦連続でポイントを獲得、シリーズランキングを8番手まで引き上げた。シリーズチャンピオンは#5角田、#6名取、

#1小高一斗選手の3人によりシリーズ最終大会で争われることになった。

【 FIA-F4選手権シリーズ第12戦・レース結果 】

#6名取 鉄平 決勝3位（24分36秒966 ベストタイム 1分53秒050）
#7大滝 拓也 決勝4位（24分40秒165 ベストタイム 1分53秒022）
#5角田 裕毅 決勝11位（24分48秒372 ベストタイム 1分53秒099）
#8佐藤 蓮 決勝13位（24分53秒291 ベストタイム 1分53秒567）

■2018FIA-F4 選手権シリーズポイントドライバーランキング（第6大会終了時点）

1位 角田 裕毅 202点

2位 名取 鉄平 188点

8位 大滝 拓也 49点

9位 佐藤 蓮 46点

（1位25点、2位18点、3位15点、4位12点、5位10点、6位8点、7位6点、8位4点、9位2点、10位1点）

■2018FIA-F4 選手権シリーズポイントチームランキング（第6大会終了時点。各チーム最上位のみ計上）

1位 HFDP 266点

●ドライバーズコメント：#5 HFDP/SRS/コチラレーシング 角田 裕毅



予選は、あまり満足のいくアタックができませんでした。タイムを出そうとしたとき、セクター3の右、右で遅いクルマにひっかかってしまいました。最終ラップでなんとかしようと思ったら、どこかに気持ちの焦りがあったのか第1コーナーで後の片輪がはみ出してイン巻きする形で無駄なクラッシュをしてしまいました。不利な状況を自分で作ってしまった感じです。土曜日の決勝で

は、タイヤがきついのはわかっていたので最初は抑えていてみんながタレてきたときに仕掛けようと思って、周りが落ち始めたとき自分は同じペースで走り続けられてうまくいきました。8位という結果は良くはないですけどポイントが獲れたのでそこは良かったと思います。でも日曜日は余り自分ではおもしろくないレースでした。スタートでもっと上げたかったのですが、結局自分のペースで走っていただけで終わってしまいました。



●ドライバーズコメント：#6 HFDP/SRS/コチラレーシング 名取 鉄平



走り始めから調子は悪くはありませんでした。ただ、オートポリスは今回が初めてで、鈴鹿のS字が全体にあるという感じでリズムが大事で一旦崩れると影響が尾を引く感じがして自信を持ちきれないところもあって、自分でまとめきれない感じの週末になってしまいました。予選は練習の段階でセットを決めたつもりだったんですがGTが走ったり気温

が変わったりしてコンディションが変わり、自分が思った方向では走れませんでした。決勝では、オートポリスはもっと抜きやすいコースだと思っていたんですが、意外に抜きづらいサーキットで大変勉強に成りましたが、自分が思っていた結果とはかけ離れた結果になってしまいました。ポイントが獲れたことは前向きに考えてもてぎ大会につなげたいと思います。



●ドライバーズコメント：#7 SRS/コチラレーシング 大滝 拓也



この週末走り出してみると、自分の思うようなペースに乗せられなかった
ので、とにかく焦らず無茶せずと心がけていました。日曜日のレースでは
タイヤを傷めずに走らせられたけど（名取）鉄平が後から近づいてきたと
きの競り合いはちょっと甘かったかなと思
います。鉄平の後には石坂選手が来ているのはわ
かっていて、鉄平をすんなり前に行かせてしまったので同じことを繰り返
すまいと最終コーナーでは立ち上がり重視の走り方に変えて 1 コー
ナーで有利になれるように心がけて走りました。それはうまくいったの
で、もてぎの最終戦につなげられたと思います。



●ドライバーズコメント：#8 SRS/コチラレーシング 佐藤 蓮



ひとことと言えば「最悪」な週末でした。ペースを上げられなかった原
因がセッティングにあるのか自分のドライビングのせいなのかよくわ
からないまま終わってしまいました。2日目の練習でコースアウトをし
たんですがそれから自分の中のリズムが狂
ってしまい、そこからまとめられなくなり、
それがレースまで響いてしまった感じがします。オートポリスは初めて
走りましたが、コースそのものもなかなか難しかったです。次は最終戦
なので今回何が足りなかったのかを見つめ直して臨みたいと思います。

